



県教委が横須賀高との統合の方針示す

うらんまちの

池新田高校

この地に設立され100年

まち唯一の高校が岐路に立たされています

今回は池新田高校の必要性を考えます

100年の歴史を誇る池高

本年度100年の節目を迎える県立池新田高等学校。同校の卒業生は2万人を超えます。

前身は、笠南農業補習学校で、大正8年に設立されました。当時の池新田村の村長であった松本愛太郎氏が主となり、学校設立の方針が取り決められたといえます。その後、池新田第一尋常高等小学校に付設され、同年4月10日に新発足しました。

大正15年には、笠南公民実業学校と改称。組織編成などを経て、昭和3年3月「池新田村外

9カ村組合立池新田農業学校」が設立されます。初代校長には丸尾謙二氏が就任し、専門の教師も配属され中等学校としての環境が整えられました。

一方、当時は経済不況で、学校も財政難でした。丸尾謙二校長は、私財を投入し学校経営にあたります。教職員の給料の一部も学校へ寄付、運動場や実習地の整地も生徒や教職員の勤労作業で実施されたといえます。

その後も周辺の町村が組合へ加入。昭和22年には県立移管され、県立池新田農学校となります。翌23年4月には学制改革